

令和 8 年 1 月 1 3 日

株式会社博報堂

加藤 智士

## 委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 1 3 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

## ・委嘱概要

特別委員氏名	加藤 智士
委嘱期間	令和 7 年 6 月 1 3 日～令和 8 年 2 月 2 8 日
実践タイトル	Thinking Tomorrow ～近未来の自分たちの生活を考えるエネルギー教育～

## ・実施事項

- ・校外学習 5 年総合「石狩 LNG 基地見学」
- ・授業実践 5 年社会「自動車の生産にはげむ人々」～日産わくわくエコスクール～
- ・授業実践 5 年理科「電流が生み出す力」～究極の電磁石 超伝導電磁石って何～
- ・授業実践 6 年理科「電気とわたしたちの暮らし」
- ・東京大学物性研究所訪問

## ・成果

- ・実践前、地球温暖化等の身近なエネルギー問題に興味の無かった児童が 4 割程度いたが、授業実践後には「あまりよく分からない」と答えた児童は 2 % に減った。
- ・北海道大学大学院の野口教授に授業に参加していただいたおかげで、児童が今まで知らなかった超伝導物質や超伝導電磁石のすごさや将来の必要性について学ぶことができ、エネルギーに関して新たな興味をもつことができた。

## ・今後への課題

- ・児童が興味をもってエネルギーの授業に取り組むために、エネルギー教育に関係する理科や社会、総合のカリキュラムを見直す必要がある。日常の授業、校外学習、出前授業、壁新聞を書く時間の確保も含めて、学校独自のエネルギー教育のカリキュラムを作成することが必要。
- ・エネルギー教育にあまり関心が無い先生方に啓発する機会を設定したかったが、多忙の中、年度途中だったので、一度だけしか研修会を実施できなかった。年度初めから計画できると、研修会や授業公開を設定しやすい。  
(先生方に納得してもらうためには、エネルギー教育実践事業特別委員という肩書きが必要かもしれない。)